

田川市郡

- 構成自治体: 1市8町1村
- 人口規模: 15万人
- 出生数: 1200人
- 生活保護率: 9.2%
- 大規模病院数: 2施設(産科ベッド数計57床)
- 10代の出生, 中絶に関する統計
 - 出生割合 6.5%(対全出生)
 - 中絶割合 24.5%(対全中絶)
 - 出生率 17.35 (対10代後半女子人口)
 - 中絶率 17.79 (対10代後半女子人口)

図1. 田川市郡の人口学的概要

平成15年度の10代分娩数の内訳(30例)

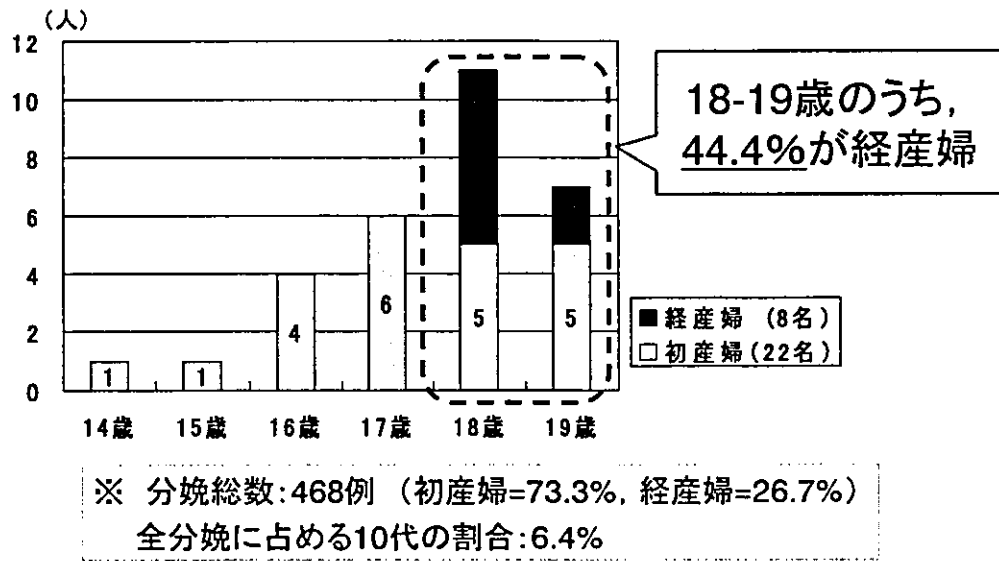


図2. 妊娠出産歴

10代分娩例(30例)における中絶経験

	初産		経産	
	分娩数	うち中絶経験者(%)	分娩数	うち中絶経験者(%)
14歳	1	0	0	
15歳	1	0	0	
16歳	4	1 (25.0%)	0	
17歳	6	2 (33.3%)	0	
18歳	5	0	6	0
19歳	5	2 (40.0%)	2	0
合計	22	5 (22.7%)	8	0 (0%)

図3. 人工妊娠中絶歴

経産(8例)の初産時年齢

初産時の年齢	経産時の年齢(初診週数)
18	19 (9週)
18	19 (11週)
17	18 (26週)
17	18 (8週)
17	18 (9週)
17	18 (17週)
16	18 (11週)
不明	18 (17週)

図4. 経産例における初産時年齢

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)研究「望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究」班、親と子のコミュニケーション・スキル向上検討会	親と子のコミュニケーション・ブック	北村邦夫	親子コミュニケーション・ブック	(社)日本家族計画協会	東京	2004 年	28 頁

雑誌・機関誌

発表者名・論文タイトル・発表誌名・巻名・ページ・出版年
○鈴木幸子：10代の出産の支援－新しい視点, 季刊セクシュアリティ, No. 17, エイデル研究所, 2004.
○村山陵子他：「文献にみる 10 代女性の妊娠・出産の支援の動向と課題」思春期学 投稿中
○北村邦夫：若者たちの性が危ない－今、期待される性教育とは、産婦人科の世界、57(1)：21-29、2005
○北村邦夫：緊急避妊法の実際と有用性、産婦人科の実際、53(5)：769-774、2004
○北村邦夫：合計特殊出生率 1.29、従来の型を打ち破る少子化対策を、家族と健康、9月号、4-5、日本家族計画協会、2004
○北村邦夫：20 歳未満の人工妊娠中絶がさらに減少、家族と健康、12月号、2、2004
○北村邦夫：避妊を男性任せにするな、Tart 第9号(8月26日発行)、JOICFP、2004
○北村邦夫：特集 どうする？性教育バッシング 若者達の性が危ない－私たちに期待される性教育とは、季刊 子どもと健康、No.77：8-15、2004
○北村邦夫：親と子のコミュニケーション、毎日新聞：Mainichi Interactive、第17話、2004
○北村邦夫：親と子のコミュニケーション、学校保健フォーラム、第四話、8(77)：12、2004
○宮崎文子：母体保護法第39条の改正に向けての提言、月刊母子保健、通巻第544号、2004年8月1日、9
○宮崎文子、渡部尚子、岡本喜代子他：受胎調節実地指導員の意識と活動の現状分析、ペリネイタルケア、通巻第299号、2004、82～87
○宮崎文子、渡部尚子、岡本喜代子他：求められる受胎調節実地指導員のあり方に関する検討－家族計画指導(避妊相談等)に関するニーズ調査より－、助産師、vol.58(4)、2004、59～64
○宮崎文子他：「受胎調節実地指導等の現状と課題－全国受胎調節実地指導等の実態調査より－」

——雑誌「助産師」に投稿中

○ 宮崎文子他：「受胎調節実地指導員としての助産師の経験—活動推進要因と活動停滞要因に焦点を当てて—」 ——雑誌「助産師」に投稿中

IV. 研究成果の刊行物・別刷り

別添